

ピカソ、モネ、ムンク…

子どもものころこんな絵を描いた！

世界の

子ども巨匠
たちが
だったころ

おかざき世界子ども美術博物館コレクション



《雪景色の中の少年》エドヴァルド・ムンク、18歳

令和6年 3月16日(土) ▶▶▶ 5月26日(日)

前期：3月16日(土)～4月19日(金)
後期：4月20日(土)～5月26日(日)
前期と後期で一部の作品は入れ替わります

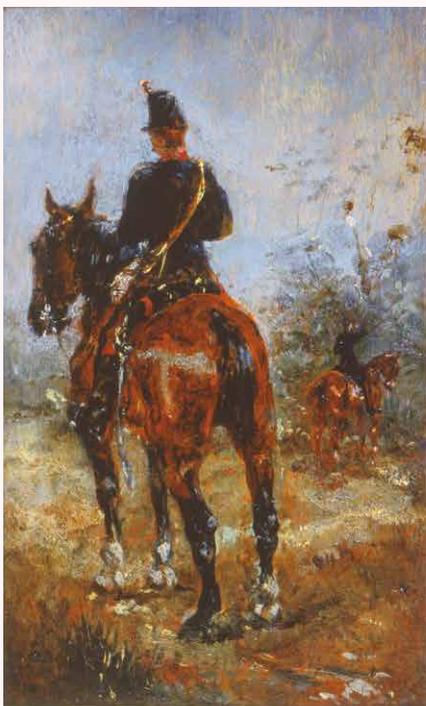
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
会期中無休
入館料：一般1,000円、大高生500円、中小生300円
(10名以上の団体は一般：900円、大高生400円、中小生200円)

主催：公益財団法人平山郁夫美術館、中国新聞備後本社
協力：おかざき世界子ども美術博物館
後援：広島県、広島県教育委員会、公益財団法人ひろしま文化振興財団、尾道市、尾道市教育委員会、朝日新聞広島総局、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、ちゅピCOM、広島エフエム放送、尾道エフエム放送、南海放送、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、テレビ愛媛、愛媛新聞、今治CATV

幼い頃の天才たちの情熱と感性

平山郁夫美術館
HIRAYAMA IKUO MUSEUM OF ART

〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢 200-2
TEL. 0845-27-3800 <https://hirayama-museum.or.jp/>



《馬上の二人の兵士》16-17歳

トゥールーズ・ロートレック

「ラファエロのように描くには4年かかったが、子どものように描くには一生かかった」。誰もが知っている20世紀の巨匠、ピカソが語った言葉である。子どもは常に純粋で豊かな感受性を持ち、勇気と愛情がいっぱいで世界のあらゆるものにまっすぐに向き合う。彼らは、みな「芸術家」である。

一方、芸術家は誰でも「子ども」だった。子どものころに描いた作品は、真摯な感情、無我夢中の努力、未来への明るい希望が溢れ、彼らが芸術家になる素地でもある。

世界の巨匠たちは子どもだったころに、どのような絵を描いていたのでしょうか。

おかざき世界子ども美術博物館がピカソ、モネ、ムック、岸田劉生といった絵画の巨匠が子どものころに描いた作品を収集してきました。これらの作品に込められた幼い天才たちの無垢な心を見つけてみませんか？

世界の巨匠子どもたちが
だったころ

おかざき世界子ども美術博物館コレクション

幼い頃の天才たちの情熱と感性

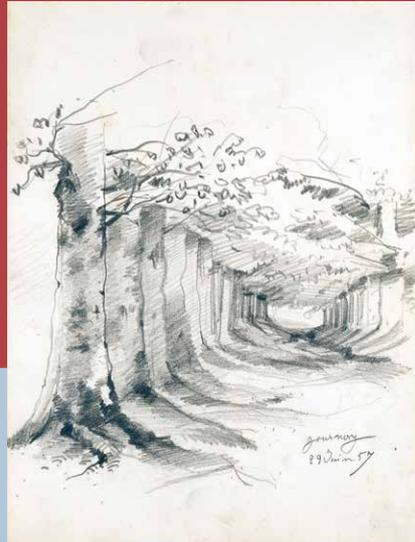
出品作家例

ピカソ、モネ、ムック、ロートレック、シーレ、
チャールズ・ワグマン、岸田劉生、伊東深水、
平松礼二、横尾忠則、田中一村、坂本繁二郎…

クロード・モネ

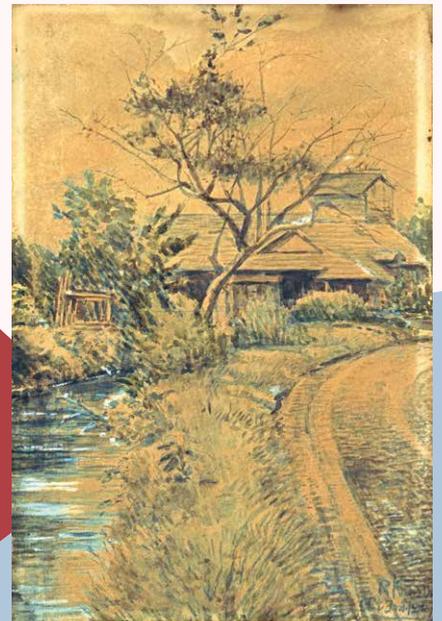


《水車小屋》16歳



《森の散歩道》16歳

岸田劉生



《秋》16歳



交通のご案内

【船】三原港→瀬戸田港 尾道港→瀬戸田港 瀬戸田港より徒歩約10分
 【車】山陽自動車道・福山西IC→生口島北IC(約40分) ※本州方面からは生口島北ICでしか降りられません。
 しまなみ海道・今治IC →生口島南IC(約35分) ※四国方面からは生口島南ICでしか降りられません。

Tea Lounge
オアシス
OASES

「ブルーレモネード」



瀬戸田産レモン
×
青いハーブティー
バターライビー
スッキリとしたレモンの味わいはもちろん、目にも楽しいドリンクです。よく混ぜて、美しい変化を楽しんでください。喫茶のみのご利用もできます。お気軽にお立ち寄りください。

平山郁夫美術館

〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢 200-2
 TEL. 0845-27-3800 <https://hirayama-museum.or.jp/>